福岡大学同窓会紙
(編集・広報委員会)

有信

有信会のアドレス
http://www.yushin.jp/
Eメール
yushin@adm.fukuoka-u.ac.jp

母校創立80周年を祝って

マンドリンクラブの演奏(手前)を聞く参加者たち＝写真は一部合成

大分、大牟田支部からもバス仕立て

卒業生の集い―第十三回ホームカミングデー（福岡大学、有信会共催）が十一月三日、母校キャンパスのヘリオスホールで開催された。教職員や卒業生など約二百二十人が出席。今年が母校創立八十周年にも当たることから有信会の大分、大牟田両支部はバス仕立てで駆け付け、母校の発展を祝った。

講演する樋口教授

式典では、まず衛藤卓也学長が「卒業生の皆様ようこそ。キャンパスの風景も長い歴史を経て今日を迎えた。これからも改善、改革しながら前進したい」。有信会の川畑懿子理事長も「母校は今年八十周年。今後も大きな母校愛で大学の発展を見守ってください」とあいさつした。

恒例の講演は工学部の樋口壯太郎教授による「ばあちゃんの知恵で環境修復」。また学生のマンドリンクラブ演奏があり、メールハーモニークラブが一緒になって校歌斉唱した。この日は学園祭の七隈祭が最終日。学生たちで賑わう中、大分からの二十四人、大牟田からの十七人のOBも百二十店に上る学生たちのバザーを覗くなどして楽しんだ。

本号8頁
2面　「50周年」相次ぐ
3面　五輪に挑んだ七隈群像
4-5面　支部総会
6面　学部同窓会総会
7面　有信八日会大交流会
福大大濠バスケ全国V
8面　産学連携協が設立総会
レディーズクラブのつどい

母校で開かれた凱旋報告会、前方右から房前監督、七戸選手、篠原斗星会会長。下は金、銀メダル

スポ科H23卒の七戸選手

世界柔道で 金(団体) 銀(個人)

日本の柔道界で期待が高まる母校出身の七戸龍選手（スポ科H23＝九州電力）が今夏、ロシア・チェリャビンスクで行われた世界柔道選手権の団体戦で金メダル、一〇〇キロ超級の個人戦で銀メダルを獲得した。九月十七日には母校で凱旋報告会も開かれ、二年後のリオデジャネイロ五輪への決意を語った。

母校で報告会　リオ五輪へ決意

国別に五人でチームを組んだ団体戦。日本は一回戦でモンゴル、二回戦は中国を相手にいずれも5―0。七戸選手は準決勝のグルジア戦からチームに参加、4―1で勝った。決勝はロシアが相手。軽量級の二人が負けたが、中量級で巻き返し、2―2の同点で七戸選手が合わせ技で一本勝ちして勝負を決めた。

団体戦前日に行われた個人戦には世界ランキングの上位者だけが出場。二回戦から登場した七戸選手は順調に勝ち進み、決勝でロンドン五輪金メダルのティ・リネール（フランス）と対戦した。

「指導」を三回受けた残り41秒、七戸選手の右大内刈りでリネールの巨体が畳に落ちた。有効か技ありか。しかし、判定はノーポイント。金星はならなかったものの、日本にとっては同級で九年ぶりのメダル。低迷していた最重量級の復活に明るい兆しが見えた。

母校での凱旋報告会で、房前母校柔道部監督とともに並んだ七戸選手は、会場を埋めた教職員や学生を前に「今後は組み手を研究、パワーをつけたい」と決意。最後に柔道部OB会・斗星会の篠原隆義会長が「OB会も応援している。しっかり頑張って」と気合いを込めた。このあと同選手は衛藤学長も表敬訪問した。

社会デザイン工学科

卒業生数5400人に
開設時は「土木」

社会デザイン工学科の祝賀会

母校工学部の社会デザイン工学科（旧土木工学科）が設立五十周年を迎え、記念式典・祝賀会を十月十八日、福岡市中央区のホテルニューオータニ博多で開いた。卒業生など約四百人が参加した。

商・法・経・薬各学部に続いて工学部が増設されたのは昭和三十七年。機械、電気に続いて三十九年に土木工学科と建築学科がスタート。現在の「社会デザイン工学科」に改称されたのは平成十五年。同学科卒業生は五千四百人に上る。

式典・祝賀会は学科と同窓会「福陽会」（高場英信会長）で組織する実行委員会が開催。式典では松藤康司委員長あいさつに続いて福岡市と北九州市の両副市長が祝辞。母校から畠田副学長も「学科は東京オリンピックの年に開設され、時代が求めたものだった」とお祝いの言葉を贈った。

これに先立って母校キャンパスでは記念講演会も行われた。NHKエンタープライズのプロデューサー・尾関憲一氏が「まち歩き番組で見えてきた都市の秘密」と題して九十分話した。学生など約二百人が耳を傾けた。

ハッピーハウスジャズバンド

結成記念コンサート
愛好者240人が集う

赤いベストにカンカン帽姿のハッピーハウスのメンバーたち

秋の夜をエンジョイ！―母校のクラブ活動・器楽部OBたちがジャズバンド（水谷茂之代表）を結成して五十周年になり、この記念コンサートが十月十八日夜、福岡市中央区のセントラルホテル福岡で開かれた。一般市民も含めたジャズ愛好者約二百四十人がホールを埋めて超満員。母校の畠田副学長、有信会の川畑理事長も来賓出席、会場は熱気に包まれた。

バンド名は「ハッピーハウス」。博多の法被を着てハッピーな音楽を―と命名、昭和三十九年十月に発足した。現在のメンバーは母校を同三十六年から四十一年に卒業した八人。さまざまな職業を持ちながら、デキシーランド・ジャズの演奏活動を続けてきた。

記念コンサートでは全員がお揃いの赤いベストにカンカン帽姿で、前半の舞台「ジャズ・オン・パレード」で六曲、後半の「ジャズ・ハイライト」で七曲を聞かせた。同バンド唯一のオリジナル曲も披露。

同じ器楽部出身で組んでいる別のバンド「ブルー・ハワイアンズ」や「アーバン・カウボーイズ」も友情出演。抽選会もあった。

旅研究部

パーティーに360人

学術文化部会の旅研究部も愛好会として活動を始めて五十周年。OB会の「暁風会」（柳原貞之会長）と現役が記念パーティーを十月十二日、母校中央図書館内で催した。OB会は五年間隔で総会を開いており、この日も約三百六十人が参加した。

同部のOBは女性も含めて約九百人。昭和三十九年にユースホステル部から分離して八人でスタートした。愛好会―同好会を経て五十六年に部昇格。現役の部員も五十人を超す。各代ごとに二人ずつの連絡係を

輪になってにぎわう旅研究部OBたち

おいて団結力も強い。

パーティーでは、柳原会長が「各地に出かける際には連絡を取り合って欲しい。OBと現役が繋がっていけるように」とあいさつ。来賓出席した有信会の川畑理事長も「五十年の歴史にクラブのスピリットを感じる。今後も七十五年、百年を目指して欲しい」と祝辞。

また、金柿宏典・初代部長は「方々に旅して、さまざまな体験を」と旅の勧め。最後は全員が輪になって校歌や福大節を合唱した。

ワンダーフォーゲル部

来春キナバル遠征へ

野外活動を通じて自然と触れあうワンダーフォーゲル部も昭和三十九年に愛好会として発足以来ちょうど半世紀。OB会（鎗水徹会長）と現役が一緒になって創部五十周年記念パーティーを十一月十五日、福岡市中央区のホテル福岡ガーデンパレスで開いた。記念行事実行委員会の本村純一委員長は「来春合宿ではマレーシアのキナバル山に遠征する」との計画を発表した。キナバル山は標高四、〇九五・二メートル。六人が四泊五日でトライするという。

肩を組んで校歌斉唱するワンダーフォーゲル部50周年パーティー

同部OB会は女性も含めて約二百六十人。記念パーティーには有信会から川畑理事長や西南学院大ワンダーフォーゲル部OB会などの来賓を含めて約八十人超が出席。部長の松塚俊三人文学部教授が「OB会には青春が息づいている」などあいさつ。川畑理事長も、昭和四十五年七月に北海道・日高山系で福大パーティがヒグマに襲われ、三人が亡くなった悲劇を通じて深まった同部の礎を振り返った。

五輪に挑んだ七隈群像 ④

陸上 走り高跳び 佐藤 恵さん（体H1）

日の丸をつけてバルセロナ五輪を跳ぶ佐藤恵さん

女性の進出が目覚ましい母校にあって、四年に一度の五輪にもこれまで二人が日本代表選手として出場している。陸上走り高跳びの佐藤恵さん（体H1）が三大会、セーリングヨーロッパ級の佐藤麻衣子さん（体H13）も二大会でそれぞれ胸に日の丸を付けた。改めて二人を訪ねた。

1984年　ロサンゼルス
1988年　ソウル
1992年　バルセロナ

恵さんは新潟県が生んだ天才ジャンパー。幼いころから柔らかい畑の土の上で宙返りなどして遊んだ。それが足腰のバネを人一倍強くした。中学一年の時、スカート姿の挟み跳びで高さ1m45のバーをクリア、周囲をびっくりさせた。

背面跳びをマスターしての中学三年で日本選手権に出場、1m87の驚異的な中学新記録で優勝。新潟市立沼垂高校二年生の時の1m90も高校新記録。どちらも三十数年経ったいまも破られていない。男女を含めた各種競技種目の中で最古だ。高校三年の昭和五十九年（1984年）にはロサンゼルス五輪に出場した。

そうした彼女がいわば異境の地にある福岡大にどうして進学したのか？―当時新潟県陸協の選手強化本部長の学友だったのが福岡県立三潴高の立石晃義先生（故人）。福岡大の非常勤講師で陸上競技部監督もしていた。高校一年から指導を受け、冬休みには寒冷の地から温暖の地に練習へ。遠いとは思えなかった。

バルセロナ五輪での入賞の賞状を手に佐藤恵さん

女子跳躍唯一の入賞
中高の記録 今も国内最高

大学二年生のころスランプで「新潟に帰ろうか」と、アパートに閉じこもった時期がある。しかし、立石先生が毎日、部屋の外から「練習に行くぞ」と声かけ。一週間目にやっとグランドに出た。身長178㌢、練習では2mを三回もクリア。三年生の公式大会で1m95の日本新記録。これは十四年間、破られなかった。

大学四年生でソウル五輪へ。ここでは決勝に残ったものの十一位。競技生活は終わるつもりだったのに、立石先生から「次は入賞だな」と言われ、つい「ハイ」。母校卒業後は高校教員を経て、スポーツ用品で知られる企業へ。三回目の五輪出場となった平成四年のバルセロナ大会では1m91の記録で七位入賞した。日本女子の跳躍種目では史上唯一となる快挙。海外遠征は計四十九回に上った。

現役学生へのアドバイスは、拒食症などの経験もあって「人真似でなく、自分流のものを作って！」。現在は新潟市に帰って県立新潟翠江高の教師。高二、中一の母親。実母も含めた家族五人の主婦。四十八歳。

セーリング ヨーロッパ級 佐藤 麻衣子さん（体H13）

現役時代にレースへ挑む佐藤麻衣子さん

麻衣子さんも同じ佐藤姓だが、恵さんとは無関係。医師をしている父親の病院が福岡市西区の小戸ヨットハーバーに近かったことから小学校四年の時、ジュニアヨットクラブに入会したのがヨット人生の始まり。

2000年　シドニー
2004年　アテネ

三人兄姉の末っ子。クラブは毎週土、日曜日にあり、海で遊ぶ楽しさを覚えた。福岡雙葉高校のころは、仲間でユースチームを作って福岡県セーリング連盟のヨットに乗った。「進学するならヨット部のある大学に」と選んだのが福岡大。

体育学部に入り、ヨットに明け暮れる毎日。平成十、十一年のかながわ、くまもと両国体の一人乗りシーポッパー級で全国優勝。三年生の時、ブラジルで行われた世界選手権で五輪の出場ワクが取れた。「この時が一番嬉しかった」。それが二月で、四年生になった四―六月は海外遠征が続き、九月のシドニー五輪へ。

今もセーリング界で活躍する佐藤麻衣子さん

連続して2大会出場
小4年からクラブに入会

「ヨット」の種目名称は「セーリング」に変わっていたが、乗ったのは女子一人乗りのヨーロッパ級。艇長4㍍弱、帆7平方㍍。身長155㌢、体重60～65㌔の彼女に合ったクラスだった。約二週間の日程で十一レース。天候によって変化する風にどう対応するか。結果は二十三位。

卒業後は愛知県豊橋市の中部ガスに就職した。ヨットに理解のある会社で、遠征が多かった。四年目のアテネ五輪にも連続出場したが二十四位。同社には十年間お世話になった。

現役選手としては平成二十年にニュージーランドで行われた世界選手権が最後。日本セーリング連盟の講師、各県や高校などのコーチとして駆け回る。今秋も国体があった長崎で母校ヨット部のOB会に出席。「ヨットとは一生の付き合いになります」。福岡市早良区在住、三十六歳。

小郡三井支部

「県政報告」を聞く

小郡三井支部の総会は六月十五日、一品香小郡店であった。有信会の平田理事、さらに久留米、大牟田、浮羽各支部役員を含めて二十五人が出席。議題を承認して特別講演会。支部顧問の井上忠敏県議から「小郡三井の現状に関する県政報告」を聞いた。懇親会では母校ヨット部の部員勧誘のお願いもあった。

唐津支部

会員増加が課題に

唐津支部の第十一回総会は六月二十八日、唐津市の旅館・長崎荘で行った。有信会の大神事務局長を来賓に会員二十九人が参加。坂本支部長を議長に議事進行、全議案を承認。行事計画では、親睦旅行や八日会を開催して課題の会員増加を図る。懇親会では自己紹介も兼ねて親睦を深めた。

玖珠支部

休眠から活動再開

休眠状態だった玖珠支部が活動を再開する総会を七月四日、大分県玖珠町の望山荘で開催した。職業の違いや年齢の差を乗り越えて秋吉支部長はじめ三十一人の参加者があり、事業計画などを承認した。ほとんどの会員が地域のボランティア活動に取り組んでおり、玖珠町・九重町の「まちづくり」にかかわっていく。

沖縄支部

現役の父母も増加

沖縄支部の第十四回総会は七月五日、那覇市のホテルロイヤルオリオンで開いた。大学から今泉副学長ら十一人、有信会から水原副理事長、さらに母校開催の父母懇談会に参加した学生の両親二十二人、会員四十五人が参加した。笹尾支部長あいさつに続いて役員改選もあり、新支部長に野原薫氏（医博61）を選出した。水原副理事長のミニ講話もあり、懇親会では会員寄贈品のジャンケン大会で盛り上がった。

岩国支部

退官の福山先生も

第三十一回岩国支部総会は七月五日、錦帯橋畔の岩国国際観光ホテルであった。会員十四人が集まった。法学部教授を退官したばかりの福山道義先生も出席。ユニークな講義の一端を伺った。懇親会では、同ホテルのシェフ特撰ディナーとシャンパンで楽しい時間を過ごした。

諫早支部

母校のDVD映写

諫早支部の第三十七回総会も七月五日、諫早観光ホテル道具屋で行われた。大学から西嶋研究推進部長、有信会から植村理事、佐世保と長崎両支部役員が出席、会員も三十二人が参加した。母校紹介のDVD「人をつくり時代を拓く福岡大学」の映写会があった。総会では横尾支部長のあいさつのあと、予算案などを承認。懇親会で賑わった。

大分銀行支部

豪華景品の抽選会

大分銀行支部の第十五回総会は八月三十日、大分オアシスタワーホテルに来賓三人を含む五十五人が参加。泥谷支部長あいさつに続いて、母校の髙妻教職課程教育センター長、有信会の大神事務局長が母校などの近況報告。懇親会では豪華景品の抽選会があった。

福岡市役所支部

会員参加70人超す

福岡市役所支部の二十六年度総会は九月一日、西鉄イン福岡で開かれた。事業報告や決算報告、事業計画や予算などが採択された。来賓と会員七十三人の計八十六人が出席した懇親会では、池内支部長に続いて母校の衛藤学長、今泉副学長、有信会の川畑理事長、森福岡市議会議長があいさつ。途中から駆け付けた髙島市長からも祝辞をもらった。会員同士の親睦が進み、楽しいひとときだった。

伊都支部

アトラクション止め

第十五回伊都支部総会は七月十八日、福岡市西区の山水荘で行われた。女性会員六人を含む三十人が参加、議案全てを承認した。来賓の川畑有信会理事長から祝辞を貰い懇親会へ。親睦の時間をより多くするためアトラクションなどは止めた。このため、会員の談笑シーンが多く見られた。最後は全員で校歌斉唱。

八代支部

堀澤氏が新支部長

八代支部の二十六年度総会は七月二十五日、セレクトロイヤル八代で開かれた。有信会から伊藤理事が来賓三人と会員百四十人が参加した。福田支部長が母校との更なる連携を訴え、議事を次々承認。「支部の充実を図るため若手会員を中心に青年部会（仮称）の創設を」との要望などがあり、発展的な総会になった。懇親会では恒例の抽選会、ゴルフコンペの表彰が行われた。最後は参加者が肩を繋いで輪になり、福大節、七隈トンビ、校歌を合唱。

久留米支部

新支部長に近藤氏

第三十五回目を迎えた久留米支部総会は七月十八日、西鉄久留米駅東口のハイネスホテル久留米で開いた。大学から星乃人文学部長、有信会から大神事務局長、近隣各支部役員、さらに今後の交流のため西南学院大学同窓会の佐藤晶二久留米支部長らを来賓に迎え、会員を加えて計百十人が参加。役員改選があり、八年間務めた平見勝彦支部長が退任、新支部長に近藤英紀氏（経38）を選任した。懇親会前には星乃学部長が「九州独立論者のつぶやき」と題して記念講演もした。

直鞍支部

会場にひびく校歌

第四十六回の直鞍支部総会は十月二十四日、直方市の直方いこいの村で開催された。母校から畠田副学長、有信会の川畑理事長、近隣各支部の役員ら来賓十八人を招き、会員も百二人が参加した。総会では事業報告や収支決算が承認され、会員の有吉宮若市長も来賓あいさつした。ものまねショーやベリーダンスで賑わい、等身大のぬいぐるみ抽選会も盛り上がった。最後は来賓たちがステージに上がり、全員が力いっぱいの校歌斉唱、バンザイ三唱で閉会した。

鹿児島支部

青年部会の創設も

鹿児島支部の総会も十月二十五日、鹿児島サンロイヤルホテルで開かれた。母校から則松図書館長ら、有信会からも佐藤副理事長の来賓三人と会員百四十人が参加した。福田支部長が母校との更なる連携を訴え、議事を次々承認。「支部の充実を図るため若手会員を中心に青年部会（仮称）の創設を」との要望などがあり、発展的な総会になった。懇親会では恒例の抽選会、ゴルフコンペの表彰が行われた。最後は参加者が肩を繋いで輪になり、福大節、七隈トンビ、校歌を合唱。

参加者100人超え 盛況 支部総会

参加者700人超え 盛況 支部総会

西日本シティ銀行支部

5年ぶり総会開催

西日本シティ銀行支部の総会は平成二十一年度以来五年ぶりに九月十二日、福岡市中央区の平和楼天神本店で行われた。母校から砂田法学部長、有信会から川畑理事長、銀行側からも川本惣一副頭取(商55)など計百九人が参加。支部会員数は四百八十人超。この日は新入行員歓迎懇親会も兼ね、新人十三人も出席、自己紹介などがあった。渡辺通支店作成のDVD「福岡大VS西南学院大三本勝負」の鑑賞で盛り上がった。締めで「来年も六、七月ごろ開催しよう」と誓った。

大分支部

大分高監督が音頭

大分支部の第四十一回総会は十月二十五日、大分市のトキハ会館で行われた。大学から衛藤学長ら、有信会から川畑理事長を迎え、会員も合わせて百六十三人が参加。活動報告や会計報告を承認した。今夏の全国高校野球大会で初の大分県代表になった大分高監督の佐野徹教頭(体57)の乾杯音頭で懇親会をスタート。イシス&ジャスミンジェナの躍動感溢れるベリーダンスや豪華景品の抽選会があり、全員で肩を組み、福大節、校歌を大合唱して盛り上がった。

宮崎県支部

今年も知事が出席

第三十三回宮崎県支部総会は十月二十五日、宮崎市のスカイタワーホテルで開催された。母校から山口理学部長、有信会から水原副理事長などが出席。毎年ほとんど顔を見せる河野俊嗣宮崎県知事が今回も駆け付け、宮崎公立大の林弘子学長(前福岡大教授)も出席。来賓六人と会員百二十三人が参加して、ゴルフコンペの表彰や抽選会、ハワイアンバンド演奏などを楽しんだ。若い会員や女性の姿もあり、支部の前途に展望が開けた。最後は全員が輪になって校歌斉唱。

広島支部

内藤副学長が講演

広島支部は第三十一回総会を七月八日、ひろしま国際ホテルで行った。母校から内藤副学長ら、有信会から伊藤理事を迎え、会員も合わせて五十五人が参加。一年前に平成十年卒の支部長が誕生したためか、若手の参加者が増えた。佐藤支部長、大前名誉支部長のあいさつがあり、内藤副学長が講演。老化予防としてスクワットの勧めと指導をした。懇親会ではジャンケン大会などで親睦を深めた。全員が久しぶりに校歌や七隈トンビに声を絞った。

別府支部

長寿の秘訣を披露

第二十三回の別府支部総会は七月十二日、別府市のホテル三泉閣で開かれた。来賓五人、会員十八人が出席。森大分支部長のあいさつがあり、別府中央ライオンズクラブの渡邊和美氏がゲスト講話。86歳の人生や長寿の秘訣を披露した。会員一同が感銘を受け、懇親会の話題も弾んだ。

佐世保支部

熱く音楽活動語る

佐世保支部の第十回総会も七月十二日、グランドファーストイン佐世保であった。母校の永田共通教育センター長、有信会の小島理事、長崎、諫早両支部役員らを加えて計四十五人が出席。村瀬支部長を議長に総会を終え、元甲斐バンドメンバーの長岡和弘氏(経49)が講演。現在もハウステンボスの音楽プロデューサーをしており、音楽活動を熱く語った。恒例の抽選会や記念撮影もあった。

筑紫野支部

公開講座に聞き入る

筑紫野支部の第十四回総会は七月十三日、筑紫野市の大丸別荘で開かれた。母校から添田薬学部長や向野筑紫病院長、有信会から川畑理事長が出席。会員を含めて計四十人が集まった。総会に続いて公開講座。一般市民も含めて「高杉晋作の生き方を学ぶ」との講演に聴き入った。懇親会も和やかに開かれた。

徳島県支部

口コミで誘おう!

徳島県支部の総会は七月二十六日、ホテルグランドパレス徳島に来賓二人と会員十二人が出席して行われた。川村支部長あいさつ、来賓の有信会・大神事務局長、髙木香川県支部長から報告や紹介があった。女性の参加は一人。「次回は口コミで誘おう」との意見も。

神戸支部

中華料理店で懇親

神戸支部の二十六年度総会は九月十三日、神戸市の中華料理店・東光であった。有信会の川畑理事長が来賓出席、会員十八人が参加した。情報交換や近況報告で懇親を深めた。

宇部支部

新支部長に小川氏

宇部支部の総会は十月十一日、ANAクラウンプラザホテル宇部で四年ぶりに開かれた。有信会から植村理事を迎え、会員も合わせて五十人が参加。長田武昭氏が退任した支部長に小川裕己氏(商46)を選任した。役員改選などを行い、二十年七月に休眠状態の支部活動を復活して以来、支部長を務めた原田武氏が勇退、新支部長に堀澤敬順氏(経48)を拍手で承認。役員も一新した。懇親会は旧知の会員も多く和気あいあい、最後は校歌を斉唱した。

支部総会の開催記録
(H26年7月−11月)

支部名	開催日	参加数	本部出席者
玖珠支部	7／4	31	—
岩国支部	5	14	—
諫早支部	5	36	植村理事
沖縄支部	5	57	水原副理事長
広島支部	8	55	伊藤理事
佐世保支部	12	45	小島理事
別府支部	12	23	—
筑紫野支部	13	40	川畑理事長
伊都支部	18	30	川畑理事長
久留米支部	18	110	大神事務局長
経済学部同窓会	19	73	川畑理事長他
八代支部	25	26	伊藤理事
徳島県支部	26	14	大神事務局長
大分銀行支部	8／30	55	大神事務局長
福岡市役所支部	9／1	86	川畑理事長
西日本シティ銀行支部	12	109	川畑理事長
神戸支部	13	19	川畑理事長
燦燦会(商大30卒)	20	13	井口顧問
商学部同窓会	27	79	佐藤副理事長他
豊和銀行支部	10／4	20	植村理事
宇部支部	11	50	植村理事
直鞍支部	24	120	川畑理事長
大分支部	25	163	川畑理事長
宮崎県支部	25	129	水原副理事長
鹿児島支部	25	143	佐藤副理事長
東海支部	11／8	29	大神事務局長
大阪支部	8	43	井上理事
島根東部支部	8	15	水原副理事長
京築支部	8	51	川畑理事長
八女筑後支部	8	46	川邊理事
下関支部	21	71	大神事務局長
愛媛県支部	21	28	伊藤理事
長門支部	23	17	—
みやま支部	28		大神事務局長
大野城支部	29		水原副理事長
日田支部	29		川畑理事長

経済学部同窓会

卒業生数四万三千七百人超を誇る経済学部の同窓会（野見山優会長）が組織化されて今回がちょうど十回目の総会。来賓も含めて約八十人が出席した。監査報告、収支報告を拍手で承認。

前糸島市長が講演会
学生たちの研究発表も

有信会代議員の改選について説明があり、学生たちが参加するベンチャー企業の研究発表が行われた。

このあと講演会。講師は松本嶺男・前糸島市長（経42）。「たまたま　まさか」と題して、人生のたまたまの岐路やまさかの出来事などを話した。続いて懇親会。野見山会長が「今後も同窓会が楽しく続くことを願っています」とあいさつ。

来賓の今泉副学長は「母校も創立八十周年。キャンパスも一新され、都会的になっている」。有信会の川畑理事長も「卒業生数も二十四万四千人を超し、頼もしい限り。同窓会も母校に寄与していきたい」と祝辞。西原宏経済学部長の乾杯の音頭で祝宴。母校の吹奏楽部や応援団のアトラクションが披露された。

応援指導部による「フレーフレー福大」
丸写真は講演する松本前糸島市長

各学部の同窓会は今夏以降も相次いで開催された。経済学部同窓会が7月19日に福岡市中央区の福岡国際ホールで、商学部同窓会も9月27日にホテルニューオータニ博多で、いずれも総会や懇親会を行った。また、医学部同窓会・烏帽子会の第33回総会はソラリア西鉄ホテルであり、115人が参加した。

商学部同窓会

商学部同窓会（川畑会長）は隔年開催で第六回。総会と懇親会があった。出席者は来賓や大分、下関からのOBも合わせて約八十人。川畑会長が「商学部は福岡高商から八十年、誇りを持とう！」とあいさつした。

規約改正があり「商大会同窓会が組織を解消した時は本会が引き継ぐ」との条文や、事業、会計、監査各報告などを承認。役員改選があり、川畑会長らは留任したが、幹事や監事の一部交代があった。有信会の代議員交代についての説明も行われた。

懇親会では衛藤学長が「大学を取り巻く環境は厳しい。有信会との絆は無形の財産です」と強調。中川誠士商学部長も「商学部棟も出来て、新たな歴史を作っていく」と決意。

乾杯に続いてアトラクション。一瞬のうちに顔の表情が変わる中国の伝統芸能「変面」が披露された。十六歳から中国で修行してきた役者・優耶さんが十一回を数える変面を見せた。

役員改選で一部交代
伝統芸能の「変面」披露

アトラクションで注目された
中国の伝統芸能「変面」

京築支部

次回総会に参加を！

第九回京築支部総会は十一月八日、行橋市の京都ホテルで開かれた。有信会の川畑理事長、近隣の北九州、宗像、飯塚、直鞍、田川、別府、大分各支部役員ら来賓二十六人と会員二十五人が出席、議案を承認した。支部会員が少なかったが、参加会員たちからは「次回はもっと増やそう」。会員は第十回総会に参加を！。

島根東部支部

日曜日開催も検討

島根東部支部の第三十六回総会も十一月八日、松江市の「五八」で行われた。有信会からの水原副理事長を含めて十五人が参加。今後は、参加者を増やすため地道な声かけが重要との共通認識のもと日曜日開催も検討する。

愛媛県支部

リオ五輪狙います！

愛媛県支部の第二十二回総会が十一月二十一日、松山市のリジェール松山で開かれた。有信会から伊藤理事、高木香川県支部長、会員二十六人が参加。トライアスロン競技の有力選手として今治市を拠点に活躍している崎本智子さん（スポ科H17）が初めて顔を見せ「リオ五輪の出場を狙います」とあいさつして総会。懇親会も和やかだった。

下関支部

七隈トンビの演武

下関支部総会は十一月二十一日、下関市のシーモールパレスであった。大学から遠藤言語教育研究センター長、有信会から大神事務局長が出席。会員も六十九人を数えた。議事に続いて懇親会。母校応援指導部員三人による七隈トンビの演武やフルーツ争奪抽選会などで盛り上がった。来年総会は十一月二十日。

八女筑後支部

玉木社長の講演も

八女筑後支部は第十九回総会を十一月八日、メモリアルホールいわ井で行った。母校から田中スポーツ科学部長、有信会から川邊理事、近隣の久留米、小郡三井、大牟田、浮羽、みやま各支部役員ら九人の来賓と会員三十七人が出席。議案を可決したあと、タマホーム（株）の玉木康裕代表取締役社長（商48）による講演を聞いた。懇親会では昨年度の世界一に輝いた地元酒造の「チャンピオンSAKE」が披露され、抽選会も盛り上がった。

東海支部

初め校歌、締め握手

東海支部の総会は十一月八日、有信会の大神事務局長、門田大濠高東海支部長を来賓に招いてメルパルク名古屋で開かれた。会員は初参加者十四人を含む二十七人。まず初めに校歌斉唱で同窓会の思いを盛り上げた。議案承認のあと懇親会。三分間ずつの自己紹介があった。最後は全員が一列になっての握手の散会、次回への絆を強くした。

有信八日会

納涼大交流会

はじめまして先輩！　がんばれ後輩！―若手メンバーが中心になって企画・運営する有信八日会の納涼大交流会が八月二日、福岡市中央区の福岡国際ホールで開催された。福岡県糟屋郡久山町に本社を置く(株)久原本家代表取締役社長・河邉哲司氏（商53）の講演会、新卒社会人紹介、お楽しみ抽選会など多彩な催しがあり、約百七十人の参加者が懇親を深めた。

新卒者の自己紹介もあった大交流会

河邉社長（商53）が講演

河邉社長の講演テーマは「モノ言わぬ　モノにモノ言わす　モノづくり」。もともと醤油屋だった会社を嗣いで四代目社長になり、加工調味料へ事業を転化。明太子やラーメンを販売する「椒房庵」や自然食レストラン「茅乃舎」などを展開しているが、その時々の苦労話や裏話などを披露。「仏のパリにも進出したい」と夢を語った。

講演する河邉社長

懇親会では松尾隆志実行委員長が「母校愛をさらに高めよう」とあいさつ。十三人の新卒者紹介があった。全員がタスキをかけて、就職先やこれからの抱負などを述べた。商事会社や銀行など会社のほか、県警や農協勤務もいた。この後はお楽しみ抽選会。豪華景品の当選者が決まるたびに歓声や拍手が沸いた。校歌斉唱、バンザイ三唱で和やかに幕を閉じた。

福大大濠28年ぶり3回目の全国制覇

28年ぶりに優勝、盛大に開いた祝賀会

高校総体男子バスケット

準決勝　1点差の辛勝

決勝では明成高に雪辱

全国高校総合体育大会の男子バスケットボールで福大大濠高が優勝、二十八年ぶり三回目の全国制覇を果たした。準決勝で桜丘（愛知）に1点差で逆転勝ち、決勝では昨年十二月の高校選抜大会（ウインターカップ）決勝で敗れた明成高（宮城）に74―53で雪辱した。福大大濠高は優勝祝賀会を九月五日に福岡市博多区のグランド・ハイアット・福岡で開催、有信会からも川畑理事長らが出席した。

祝賀会開く

同大会は八月二日から千葉県船橋市で行われた。小林高や前橋育英高を次々に撃破、桜丘戦は手に汗握る接戦となり、最後はサインプレーが決勝点となる再々逆転の70―69だった。明成戦は第1、2クオーターで18点差をつけ、勢いは最後まで衰えなかった。

関係者約二百二十人が参加した祝賀会で相良浩文校長は「インターハイ優勝は昭和四十九、六十一年についで三回目。準優勝も七回。部員三十八人が体育館の拭き掃除で精神力を高めた結果だ」とあいさつ。就任四年目の片峯聡太監督も「全員が真面目に懸命に役割を果たした」と報告した。衛藤学長も祝辞を贈った。

来春の卒業生に手渡される「福水会」の入会証書

4年生へ入会証書渡す

水泳部OB会「福水会」が創立5周年

母校体育部会・水泳部のOBで組織する「福水会」（辻俊丸会長）が創立五周年記念総会を十月二十五日、福岡国際ホールで開いた。来賓や現役を含めて約五十人が参加。来春卒業予定の四年生部員八人に辻会長名のOB会入会証書手渡しなどがあった。

同部は母校創立と同時に発足、八十年の歴史を誇るが、OB会は平成二十一年八月に発足式を行った。記念総会では部長の佐藤研一工学部教授や有信会の井上理事が来賓あいさつ。新主将の決意表明やコーチからの「全国で活躍出来る選手の育成に全力を挙げたい」との活動報告などが行われた。

「社会人コース」履修生を募集

商学部第二部商学科では、会社員、中間管理職、公務員、経営者、リカレント教育希望者等の社会人を対象に、一年間の履修期間でビジネス・マネジメントを体系的に学べる「社会人コース」を開設しています。履修生は金融・流通、経営、会計、国際ビジネスの四分野に関わる科目を受講することができます。コース修了者には、学校教育法（第一〇五条）に基づく履修証明書（社会人コース修了証）を授与します。一年間で修了できない場合には、一年間の延長も可能です(追加受講料は不要)。平成二十七年度履修生募集については、商学部事務室にお問い合わせ下さい。

母校と「産学連携協」設立

ＯＢ社長55人が参加

産学連携協議会の設立総会

福大人脈を結集へ

母校と卒業生社長たちが連携を深めるための「福岡大学産学連携協議会」の設立総会が十一月五日、母校文系センターで開かれた。設立に当たっては九州を中心に五十五社のＯＢ社長が賛同。これから福大人脈を結集していく。

帝国データバンクの調べによると、九州に本社を持つ企業経営者の出身大学で最も多いのは福岡大。その数は約二千三百人。二位以下を大きく引き離している。だが、同窓会有信会はあるものの、企業人としてのつながりがなかった。

設立総会では発起人の川邊義隆氏があいさつで「大学を核として、もったいない仲間同士が連携していこう」と強調、衛藤学長も「大学創立八十周年に当たり長期ビジョンを作った。大学と卒業生社長が連携して人材育成や情報発信していきたい」。学校法人の鎌田理事長もあいさつした。役員や事業計画を決めて特別講演会。懇親会では川畑理事長もあいさつで同協議会の設立を祝った。同会の役員は次のとおり＝敬称略。

▽共同代表＝衛藤卓也学長、川邊義隆（経38）▽副代表＝畠田公明副学長、馬本誠也副学長、篠原統（経40）▽幹事＝西嶋喜代人研究推進部長、片岡泰文産学官連携センター長、吉田茂視（経41）山田登三雄（工50）河邉哲司（商53）松島徹（工53）隈扶三郎（法62）

第80回チャリティゴルフ大会

寄金は「野の花学園」へ

有信会が会員の親睦を深めるための有信チャリティゴルフ大会が第八十回を迎え、十月三日に小郡市三井の小郡カンツリー倶楽部で行われた。一般も含めて三百二人が参加。チャリティで集まった約三十万円の浄財を福岡市西区の社会福祉法人・野の花学園に贈った。プレーは十八ホールのWペリア方式であり、個人は井上晋さん（経41）チーム対抗戦では写真部ＯＢ会・七隈写友会がそれぞれ優勝、川畑理事長からトロフィーなどが手渡された。

レディーズクラブのつどい

馬頭琴の演奏と丸写真は講演の向野筑紫病院長

向野筑紫病院長が講演

馬頭琴の演奏にも拍手

有信会の女性会員たちが親睦を深める「二十六年度レディーズクラブのつどい」が十一月十五日、福岡市中央区の福岡国際ホールで開催された。来賓や現役学生を含めて約七十人が出席。懇親会ではモンゴルの大草原を彷彿とさせる馬頭琴の演奏があり、母校筑紫病院の向野利寛病院長が「加齢と眼」をテーマに講演した。

出席した来賓は母校から小野寺学生部長、田中スポーツ科学部長、西嶋研究推進部長ら、さらに九州大女子卒業生の会・松の実会と西南学院大女子同窓会・西南ゆりの会の各役員ら。有信会からも佐藤、水原両副理事長らが顔を揃えた。

同クラブ会長の川畑有信会理事長があいさつ。現役学生たちに「有信会が同窓会であることをPRしてください」と強調。小野寺学生部長は「大学にとって有信会は心強い限り」などと祝辞を述べた。

馬頭琴の演奏は懇親会のアトラクションで披露された。内モンゴル自治区出身で、十数年にわたって九州を拠点に活動しているドランさんら三人が「荒城の月」や「万馬の轟」などを演奏、大きな拍手を受けた。向野病院長は講演で、高齢化に伴って起きるさまざまな目の障害について解説。「眼も一緒に年を取ります。上手に付き合って！」。

ファイル

前期卒業式で96人巣立つ

母校の二十六年度前期卒業式が九月二十七日にヘリオスホールで行われ、各学部合わせて九十六人が巣立った。式では衛藤学長が卒業生代表に学位記を授与、式辞を述べた。「卒業後も専門知、教養知、経験知の三つの知を充実させてください」と餞の言葉を贈った。有信会の川畑理事長も「母校の卒業生は対人力がトップ。皆様も福大力を発揮されますよう」と祝辞を述べた。

オープンキャンパス来場1万人超す

高校生たちに大学を体験してもらう「オープンキャンパス２０１４」が八月九日、母校で開催された。台風接近の中ではあったものの一万人を超す来場者があって、キャンパスは終日賑わった。高校生たちは模擬講義、公開実験、個別相談、施設見学などに目を凝らし、胸を弾ませた。例年に比べて保護者同伴が目立ち、関係者も「年々増える傾向にあります」という。

◆有信会の主なスケジュール◆

月	日	予定行事
1	7	平成27年新年賀詞交換会
2	上	第４回理事会
		大分市役所支部総会
		添田支部総会
	中	長崎市役所支部総会
	20	飯塚支部総会
3	上	奈良支部総会
	中	田川支部総会
	19	福岡大学第62回卒業式

［注］上中下は上旬、中旬、下旬

お悔やみ申し上げます

松原　建彦氏（まつばら・たけひこ＝福岡大学名誉教授、元経済学部長、同教授）八月二十九日に死去、七十三歳。自宅は福岡市城南区。

発行所
福岡市城南区七隈8-19-1
一般社団法人
福岡大学同窓会有信会
郵便番号　814-0180
電話（092）871-6631
FAX（092）863-3668
印刷所
福岡市西区周船寺3-28-1
正光印刷（株）